

2016年度 教育課程編成委員会① 開催記録

日時	2016年9月28日(水)	場所	中村学園Nタワー 1F	進行	田村
出席者	中原 章統 (株式会社セイファート キャリアデザイン事業部マネージャー) 飯高 健 (一般社団法人日本美容師連盟 理事長 有限会社プライマル代表) 片岡 新一郎 (一般社団法人日本美容師連盟 有限会社アルター代表) 田村 英介 (ジェイ ヘアメイク専門学校 校長) 富澤 邦明 (ジェイ ヘアメイク専門学校 広報学務室長) 前田 毅 (アイ エステティック専門学校 校長)				
教育課程編成委員会 記録	<p><u>1. 議題</u></p> (1)学校運営の現況報告 (2)学生指導について (3)新学校種の創設答申について <p><u>2. 概要</u></p> (1)学校運営の現況報告 ①学生状況・就職状況 学生数 1年生 65名、2年生 25名 年初合計 90名 2年生：就職状況 25名中 24名内定 1年生：退学1名 要注意学生2名の対応が課題 来年度学生数が増えるが、外部企業の「就活塾」等を活躍して学生の仕事に対する意識向上を図っていく。 ②授業改善アンケート結果 7月末に実施したが、1年生の授業理解度が低い。→国家試験の筆記試験対策を早めに講じていく必要がある。 ※企業側からのご意見 Q：昨年度の傾向との違いは？ A：全体的にはプラス回答率が微増している。少しではあるが改善している。 Q：学費の経済的支援制度は？ A：主に日本学生支援機構の活用を促進している。その他個別対応で、可能な範囲で他の奨学金制度（在学中学費支払いゼロ制度）を紹介している。 (2)学生指導について ①学生の人間力育成 学生増加に伴い、今後の課題となる可能性が大きい。 プログラムを導入していくため、美容師の特性に合わせるか一般的な社会人教育にしていくか今後検討していく。 ※企業側からのご意見 ○小さなことでも少しずつ改善をしていくことで、習慣化して成功したケースがある ○毎授業最後に小テストのようなことを行う。油断防止。 ○外部での現場実習を増やして、本人に授業の重要性の気付きを与えてみる。 ○Q：注意力散漫な学生の対処法は？ A：アクティブラーニングを導入を検討中。 <p>※日本美容師連盟からの提案 外部サロンワーク授業導入しては如何か。1年生なら15時くらいまで。2年生はフルタイム。 希望すれば閉店後の勉強会まで参加OK。 1日から数日までのインターンシップ対応は柔軟に対応できる。 ⇒今後学校とサロン側とで情報交換を行い、実現可能なところから着手していく。</p>				

②教員のスキルアップ

担任制度について意見交換

※企業側からのご意見

○卒業したばかりの卒業生からヒアリングをして、学生に体感させてみては如何か。

(3)新学校種の創設答申について

平成 31 年に文部科学省は「専門職大学」(仮称)の開学を目指している。

新機関の制度化のポイント【養成する人材】【修業年限】【教育内容・方法】【教員】に加え、校地校舎面積を含めた新たな設置要件が設定されるので、ハードルは高い。将来、社会に出た時に本当に役立つ教育プログラムとしたい。今後学園としても検討していく。

(4)その他・次回日程

学校は今回頂いた意見を参考に、取り組み・改善を行っていく。取り組んだ内容、結果については次回 2017 年の第 2 回教育課程編成委員会で報告することを確認した。

配布資料

①16 年度前期授業改善アンケート結果

②就職活動状況一覧表

③専門学校協会会報

以上

2016年度 教育課程編成委員会② 開催記録

日時	2017年3月8日(水)	場所	中村学園Nタワー 1F	進行	田村
出席者	中原 章統 (株式会社セイファート キャリアデザイン事業部マネージャー) 飯高 健 (一般社団法人日本美容師連盟 理事長 有限会社プライマル代表) 片岡 新一郎 (一般社団法人日本美容師連盟 有限会社アルター代表) 田村 英介 (ジェイ ヘアメイク専門学校 校長) 富澤 邦明 (ジェイ ヘアメイク専門学校 広報学務室長) 前田 毅 (アイ エステティック専門学校 校長)				
教育課程編成委員会記録	<p>1. 学校運営の現況報告</p> <p>(1) 学生状況について</p> <p>2016年4月1日現在 90名在籍 (2年生25名、1年生65名)</p> <p>2017年2月末 現在 80名在籍 (2年生23名、1年生57名)</p> <p>2017年4月予定 130名在籍 (新2年生56名、新1年生74名)</p> <p>(2) 就職状況について</p> <p>卒業生23名全員内定 (卒業生就職率100%)</p> <p>内訳県内15名(65%)、県外8名(35%)</p> <p>(3) 16年度学園生活アンケート結果</p> <p>1. 1年次の授業について</p> <p>2. 資格について</p> <p>3. 学校教職員の対応について</p> <p>⇒学生指導について教務チームと他チームとの教員間に温度差があるのではないかと。今後新年度を迎えるにあたり、学生情報を共有し、定期的に確認していく。</p> <p>⇒クラスの差を無くしていくような学校としての指導方法を討議して進めてみては。早速職員会議で話し合いを行う。</p> <p>⇒入学後のアンケートにおいて、規則について満足が少なく、不満が多いため、今後改善策を検討する。</p> <p>4. 施設・設備について</p> <p>⇒ロッカー使用ルールを見直して再度指導を徹底してみては。教員の意見だけでなく学校として指導を行っていく。</p> <p>5. 本校への入学について</p> <p>⇒卒業生にアンケートをしてみてもは。</p> <p>厳しい意見かもしれないが、本質を突いてる可能性が高いと思われるので今後検討していく。</p> <p>⇒サロンのスタッフがホームルーム等で指導サポートしてみては。授業時間とサロンスタッフの方とのスケジュール調整可能な範囲内で検討。</p> <p>2. 17年度取組みについて</p> <p>(1) 専攻授業</p> <p>カリキュラム重視しつつ、現場に沿った内容を行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘアスタイリスト専攻 (TONI & GUY 技術教育提携) ・ヘアメイク専攻 (メイク・まつ毛エクステ) 				

(2) 企業との連携について

7/11 (火) 学内企業演習・説明会実施

3. その他

(1) 理容美容の規制改革について

理容美容の規制改革等に係るワーキンググループ検討会報告書に基づき、
教科課程の見直し、学科時間数の増減、教員資格について検討後、決定された。

配布資料

- ①就職活動状況一覧表
- ②規制改革等に係る報告書

以上